



小安協ニュース

会報

No.26

2022.2

- * 年頭ご挨拶 (第三管区海上保安本部長)
- * 年頭ご挨拶 (関東小型船安全協会会長)
- * 海上安全指導員活動紹介
- * 東京2020オリンピックセーリング競技大会警戒協力
- * 海上安全指導員表彰者紹介
- * 令和3年海難発生状況 (速報値)
- * 新入会員紹介
- * 事務局だより



SAK 関東

■年 頭 ご 挨拶

明けましておめでとうございます。

第三管区海上保安本部長の廣川でございます。

公益社団法人関東小型船安全協会会員の皆様におかれましては、平素から茨城県、千葉県、東京都、神奈川県及び静岡県の沿岸海域における小型船舶の海難防止活動や運航マナーの向上に係る取り組みにご尽力いただいております、心から敬意を表する次第です。また、常日頃から海上保安業務に格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。



第三管区海上保安本部長
廣 川 隆

昨年におきましては、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、特に、セーリング競技が開催された神奈川県の江の島周辺海域の小型船舶の安全確保については、関東小型船安全協会の皆様をはじめ、関係各位のご協力のお蔭をもちまして、無事成功裏に大会を終了ができました。改めて御礼申し上げます。

さて、我が国の周辺海域では、毎年 2,000 隻前後の船舶海難が発生しており、ひとたび事故が発生すると、尊い人命や財産が失われるばかりでなく、経済活動や海洋環境にまで多大な影響を及ぼすことがあります。なかでもプレジャーボートの海難は、全船舶海難の 6 割以上を占めており、この海難防止対策が喫緊の課題となっております。

当管内における令和 3 年の海難発生状況（速報値）を見てみますと、船舶海難隻数は 421 隻で前年比 18 隻の増加、うちプレジャーボートの海難隻数は 312 隻で、全船舶海難の 7 割以上を占めており、特に水上オートバイによる海難が前年比で 15 隻の増加となるなど、船舶海難全体に占める割合が高い傾向となっております。

プレジャーボートの海難種類別の発生状況については、機関故障や燃料欠乏などの適切な点検・整備で防げた海難が半数にのぼることから、「発航前検査の徹底」や「整備事業者等による定期的な点検整備」の重要性を重点的に指導啓発していきます。誰しも自分は事故に遭わないと考えがちではありますが、小さな油断が大きな事故へと繋がることは過去の事故を見ても論を俟たないところです。

マリレジャーの普及と発展には安全遵守が最も重要であり、本年も地域に密着した活動を行っていただいている海上安全指導員をはじめ会員の皆様の役割は益々高まっております。我々海上保安庁としましても、引き続き、皆様と協力し海難の減少に更に力を入れて取り組んで参りたいと考えております。

最後になりましたが、関東小型船安全協会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。本年も宜しく願いいたします。

■ 新年ご挨拶（令和4年）

明けましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたりまして、会員の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの対応に終始した一年でした。年末までには緊急事態宣言も解除され、一旦終息の兆しがみえましたが、また新たな変異ウィルスのオミクロン株が出現し、それまで以上のスピードで感染拡がりつつあり、すぐには収束する見込みはなさそうですが、一日も早く平穏な日常が戻ってくることを願っております。従いまして、今しばらくは会員の皆様には、当協会の活動におきましてご不便をおかけすることになろうかと思いますがよろしくお願いいたします。



関東小型船安全協会
会長 渡部典正

また、昨年、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、関東小型船安全協会といたしましても、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会からの要請を受けて、海上安全指導員を中心とする会員の皆様のご協力のもと競技会場付近海域の警戒業務にあたりました。大会競技期間は、連日の猛暑や台風の接近に伴う海上模様不良の中で、新型コロナウイルス感染症への対策などの多くの課題を克服し、無事に任務を完遂いたしました。このことは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に大きく貢献をしたということで組織委員会をはじめ内外からの高い評価を受けました。会員の皆様方のご協力にあらためて深く感謝いたします。

さて、今年もウィズ・コロナを前提とする新しいライフスタイルへの変化が求められておりますが、こうした状況のもとでも、小型船舶の海難事故などの減少のために社会から期待されている当協会の使命・役割を果たし、新しいライフスタイルの中で海洋レジャー活動などを行う小型船舶などが楽しく、安全・安心な活動ができるような環境づくりに貢献していくという当協会の使命・役割は益々重要と思っており、今後も皆様とともにこの使命を果たしていきたいと思います。

さて、最近のデジタル化の進展は目を見張るものがありますが、今年も政府を中心に様々な分野でのデジタル化が推進されることとなっています。当協会といたしましても「マリンライフにおける信頼できる安全情報の提供によるセーフティネットワーク」づくりを推進していきたいと考えております。

昨年もコロナ禍ではありましたが、海上安全指導員及び会員の皆様、関係機関・団体のご支援ご協力のお陰をもちまして、所要の事業を実施することができました。財政状況につきましても、引き続き厳しい状況ですが、皆様のご支援、ご協力を得ながら改善に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

今年も、新型コロナウイルスに屈することなく、海上保安庁をはじめ関係機関・団体のご理解、ご支援、ご協力を得て、海上安全指導員及び会員の皆様とともに小型船舶の安全・安心のために努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

指導員の活動紹介 1

令和3年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



4月 ヴェラシスマリーナ安全講習会



4月 横須賀 合同パトロール



4月 千葉 千葉支部総会

指導員の活動紹介 2

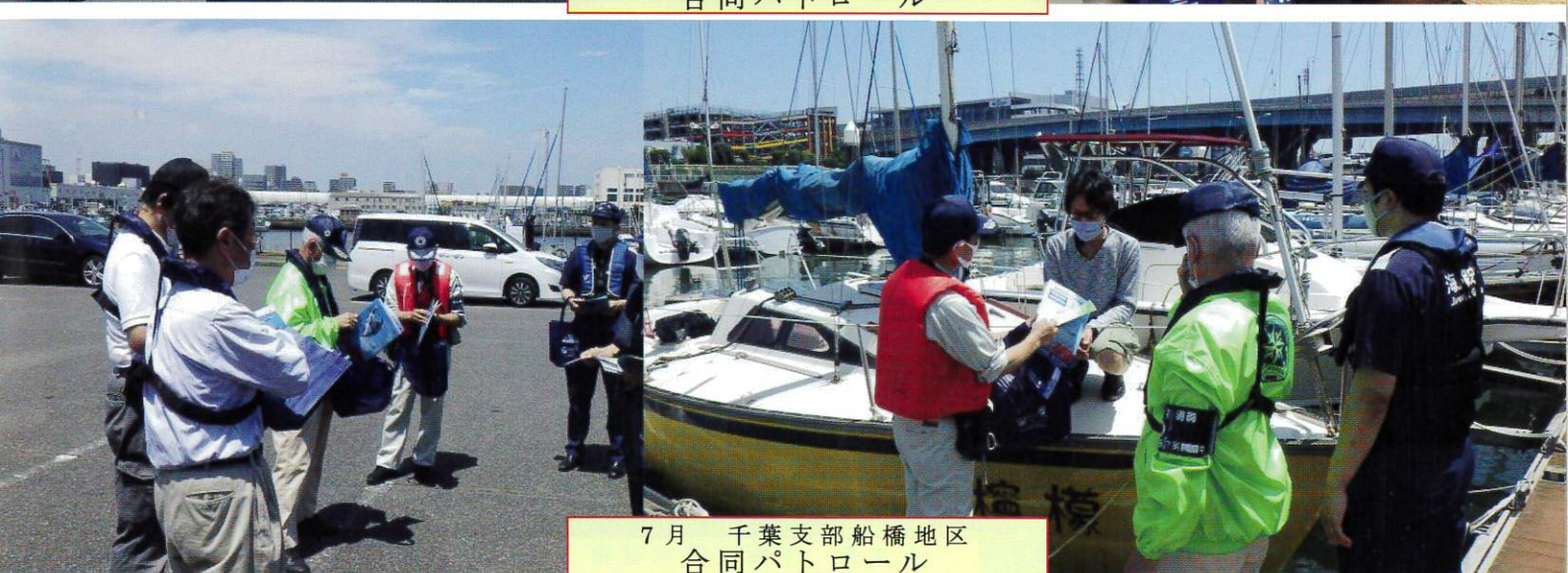
令和3年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



5月 千葉外房支部
合同パトロール



7月 千葉支部浦安地区
合同パトロール



7月 千葉支部船橋地区
合同パトロール

指導員の活動紹介 3

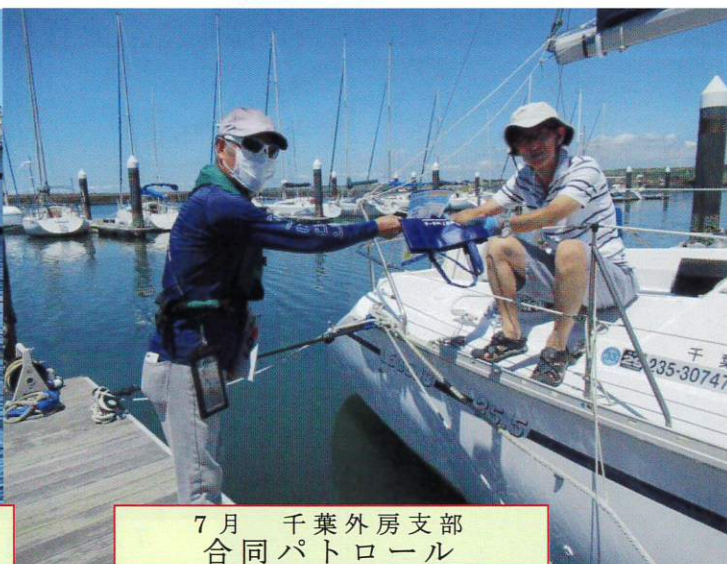
令和3年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



7月 横浜支部
合同パトロール



7月 横浜支部合同パトロール
ドラゴンボート転覆事故に出会い救助活動実施



7月 千葉外房支部
合同パトロール



7月 千葉支部木更津
合同パトロール

指導員の活動紹介 4

令和3年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



7月 千葉オーシャンヨットクラブ
安全講習会



12月 千葉支部浦安地区
合同パトロール



10月 千葉外房支部
総会



12月 千葉支部船橋地区
合同パトロール



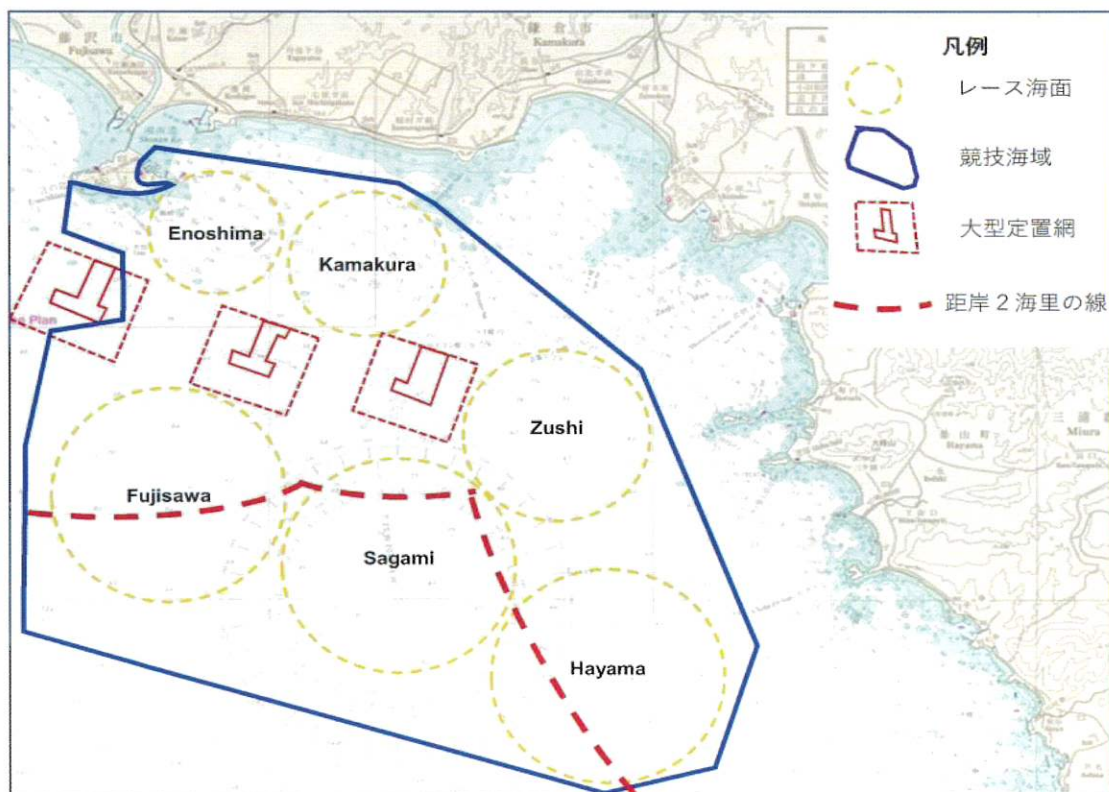
12月 千葉支部木更津地区
合同パトロール

東京 2020 オリンピック

セーリング競技大会警戒協力

東京 2020 オリンピックセーリング競技大会が 2021 年 7 月 25 日から 8 月 5 日までの間神奈川県江の島、逗子、葉山沖合の特設海域で実施されました。

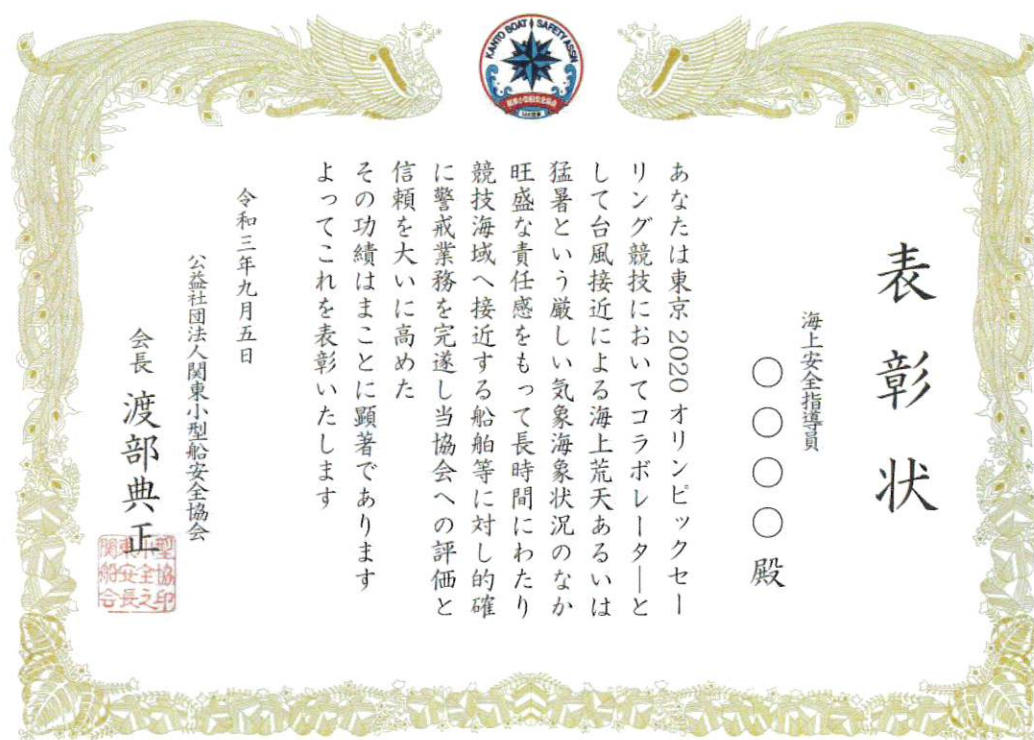
競技海上付近海域の警戒は、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会からの要請を受けて、海上安全指導員を中心とする会員 38 名の皆様のご協力のもと実施されました。大会競技期間は、連日の猛暑や台風の接近に伴う海上模様不良の中で、新型コロナウイルス感染症への対策などの多くの課題を克服し、無事に任務を完遂することができ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に大きく貢献をしたということで組織委員会をはじめ内外からの高い評価を受けました。



東京 2020 オリンピック セーリング競技大会警戒協力

警戒に協力された方には、協会会長から表彰状が渡されました。(順不同)

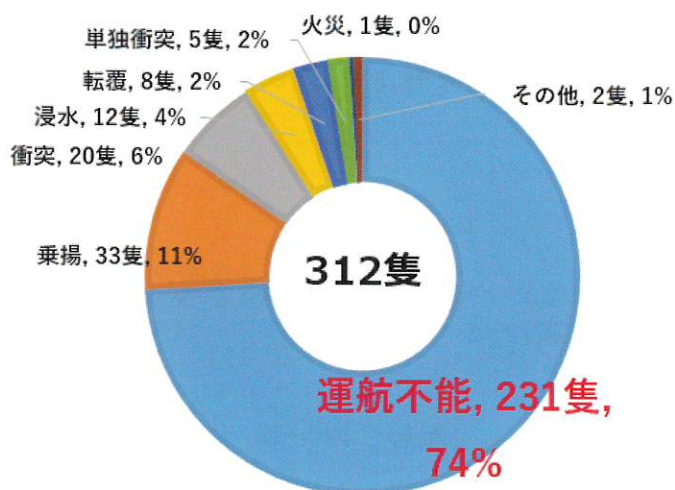
相原 徹	浅野 悦男	竹山 博	坂本 正治	内田 実	大島 博
小山田 恵一	木村 日出夫	石ヶ 守哲夫	坂爪 正博	歌代 光雄	日野 順次
鈴木 健一	南部 裕一	山根 昭雄	山野 井英久	浦田 憲孝	坂口 敦
菅原 幸二	名倉 克己	小宮 伸彦	金子 登	岡本 裕介	赤羽 智行
足立 宏	金森 信治	谷 義弘	宮川 健美	内山 功	金井 勇
丸川 一美	相原 恵美子	相原 佳代子	武内 靖	佐藤 英昭	
渡部 典正	黒川 暁博	又野 良政			



【令和3年プレジャーボートの海難の傾向】

プレジャーボートの海難312隻の海難種類別発生状況

海難種類別（R3）

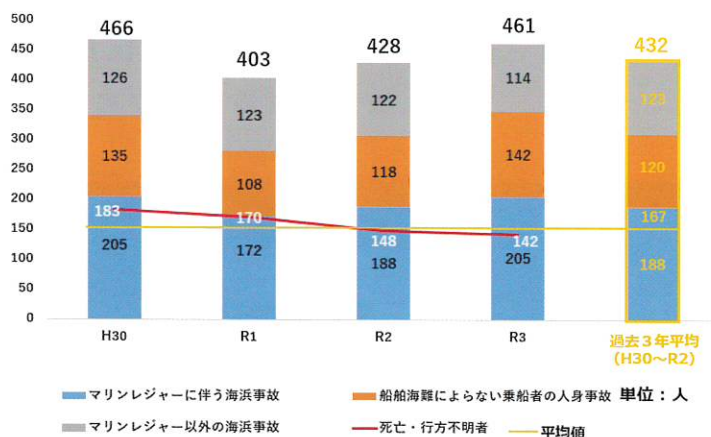


運航不能（内訳） R3

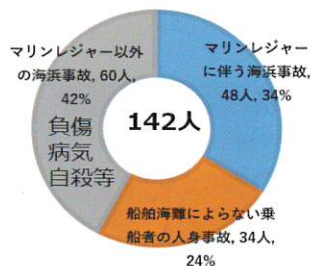
機関故障	131
燃料欠乏	13
バッテリー過放電	12
推進器障害	30
操船技能不足	9
その他	35

●適切な点検整備で多くの海難が防げた

人身海難発生状況



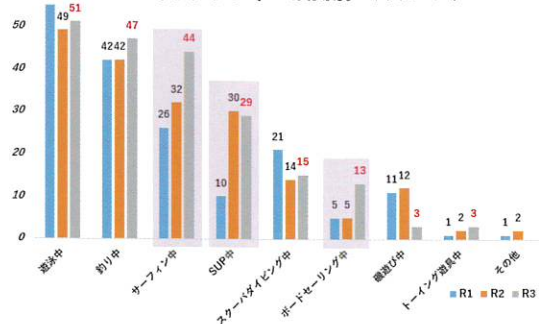
死亡・行方不明者区分別（R3）



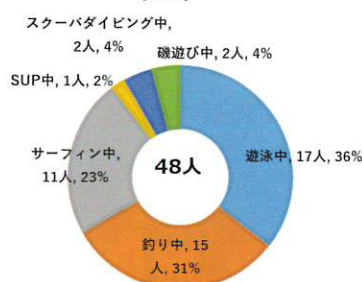
●発生数は461人、死亡・行方不明者は142人

●死亡・行方不明者は、H13以降最小

マリンレジャー活動別（単位：人）



死亡・行方不明者（R3）



おめでとうございます

■ 海上安全指導員の表彰

海洋レジャー事故の未然事故防止及び健全な発展を図るために、ボランティアとして長年に亘って海上保安業務に協力し多大な貢献をされた功労者として、次の通り海上安全指導員の方々が令和3年の海の日（7月22日）に表彰されました。

◆ 内閣総理大臣表彰

塚本 稔 様（東京）

◆ 国土交通大臣表彰（順不同）

堀 善興 様（横浜） 高木 和宏 様（伊豆） 椿 直光 様（伊豆）
佐藤 雄二 様（伊豆） 島田 善一 様（伊豆）

◆ 海上保安庁長官表彰（順不同）

小宮 江津子 様（横須賀） 松井 正昭 様（役員） 大島 博 様（役員）
樋口 誠六 様（役員） 竹山 博 様（役員）

◆ 第三管区海上保安本部長表彰（順不同）

吉野 隆志 様（千葉） 山本 正好 様（役員）

◆ 海上保安部長表彰（順不同）

和田 晃 様（横浜海上保安部長）	村野 隆一 様（千葉海上保安部長）
足立 宏 様（東京海上保安部長）	黒川 健太郎 様（横須賀海上保安部長）
宮田 勉 様（横須賀海上保安部長）	高野 重信 様（下田海上保安部長）



■ **新入会員ご紹介** 令和3年6月以降次の方々が入会されましたのでご紹介いたします（敬省略）

番号	氏 名	所 属 団 体	番号	氏 名	所 属 団 体
伊 豆 支 部			横 浜 支 部		
2794	藤井 和治	伊豆小型船安全協会	2793	関東港湾サービス(株)	個人
2796	安東 弘至	伊豆小型船安全協会	2803	佐藤 紳一	個人
2797	佐藤 泰一	伊豆小型船安全協会	2805	楠原 倫子	個人
2798	佐藤 新吾	伊豆小型船安全協会	2808	小澤 秀範	個人
			横 須 賀 支 部		
し み ず 支 部			2802	芳村 貴正	真鶴ベイマリーナ
2804	酒井 幹彦	御前崎マリンクラブ	東 京 支 部		
2806	朝倉 一哉	個人	2795	長沼 武史	ウォーターリスキュマネジメント協会
2807	飯野 由美子	御前崎マリンクラブ	2799	高橋 哲生	個人
千 葉 支 部			2801	今井 伸幸	ナカガワマリーナ
2800	内田 貴之	個人	個人会員：694名、団体会員：49、賛助会員：36		

令和4年1月31日現在会員数

■ **事務局だより**

1 **寄附金のお願いについて！**

今年度も当協会の目的であります航行の安全、海難の防止及び海洋レジャーの育成に関して活発に活動を実施することができました。これもひとえに皆様方、特に海上安全指導員の活動の賜物と深く感謝を申し上げます。

今後も、公益社団法人として、小型船舶安全運行に関し先頭切って社会に貢献すべく活動を展開していく必要があると思っております。

つきましては、協会の円滑な運営と小型船舶の安全確保に使用することを目的としたご寄附をお願いいたしたく、皆様方のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご賛同頂ける方は、添付の振込用紙又は下記の口座へのお振込みをよろしくお願いいたします。

ご寄附は、任意であり強制するものではありませんが、ご協力頂ける場合は、賛助会員及び団体会員は1口1万円、個人（法人）会員は1口5千円（任意の口数）でお願いいたします。

銀行名	横浜銀行関内支店	郵貯銀行
口座名	公益社団法人関東小型船安全協会	
口座番号	（普通） 1 0 6 1 3 5 3	（普通） 1 0 9 6 0－0 3 1 6 1 5 0 1

2 **令和3年6月から令和4年1月末までにご寄付を頂いた方（順不同）**

A氏（横浜支部）匿名希望	90,000 円	原 光彦（横須賀支部）	10,000 円
竹山 博（横須賀支部）	5,000 円	御園生 浩（東京支部）	30,000 円
古橋 理（しみず支部）	5,000 円	高木 和宏（伊豆支部）	10,000 円
堀 善興（横浜支部）	5,000 円	堀 善太郎（横浜支部）	5,000 円
(株)日本製衡所（東京支部）	5,000 円	山田 義夫（横須賀支部）	100.000 円
倉地 浩二（東京支部）	10,000 円	松井 正昭（東京支部）	50,000 円
熊谷 儀七（横浜支部）	18,600 円	木下 啓士（東京支部）	3,000 円
内山 功（横浜支部）	5,000 円	黒川 暁博（横浜支部）	20,000 円
島田 誠一（東京支部）	5,000 円		
		合計	376,600 円

寄付金は、小型船の海難防止及び安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展のために活用させていただきます。令和4年度も一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

BOAT CREW SEAMANSHIP MANUAL

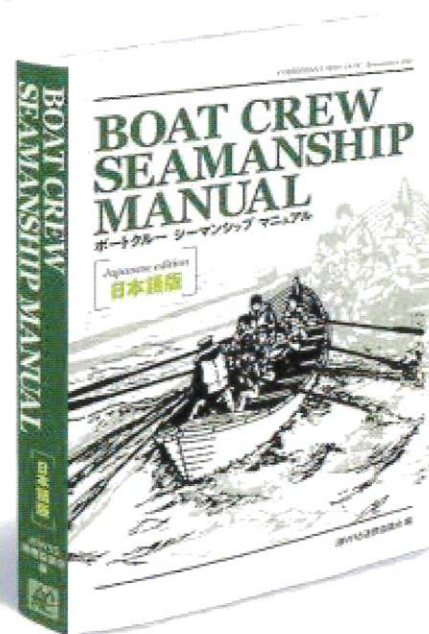
ボートクルー シーマンシップ マニュアル

米国沿岸警備隊 (United States Coast Guard : USCG) の任務を遂行する上で必要となる小型船舶の運航法と手順を邦訳。艇長の責任、ボートの特性や操船方法、気象海象から、傷病時の応急処置、海中転落者の救助方法や曳航方法に至るまで、小型船舶の運航に必要な多岐にわたる内容を網羅。スキルアップを図りたいアマチュアボーターから、現場で働くプロフェッショナルまで、小型船舶に関わるすべての人々にとって有益な、ボート免許取得後に実践で必要となる知識と情報を満載した一冊。

編=JBWSS連携協議会

JBWSSとは?

Japan Boating & Water Safety Summit (JBWSS) は、米国で毎年開催されている水難および小型船の海難事故防止を目的とした会議「International Boating and Water Safety Summit (IBWSS)」の日本語版として始まったもの。水上安全と安全運航をテーマとして、舟艇及び水上安全等にかかわる団体が集い、情報の共有や効果的な連携と協働により、さらなる水難及び海難の防止と安全対策の向上を図ることを目的に、2016年から年に1回、このテーマを扱う国内唯一の官民一体となったイベントを開催している。

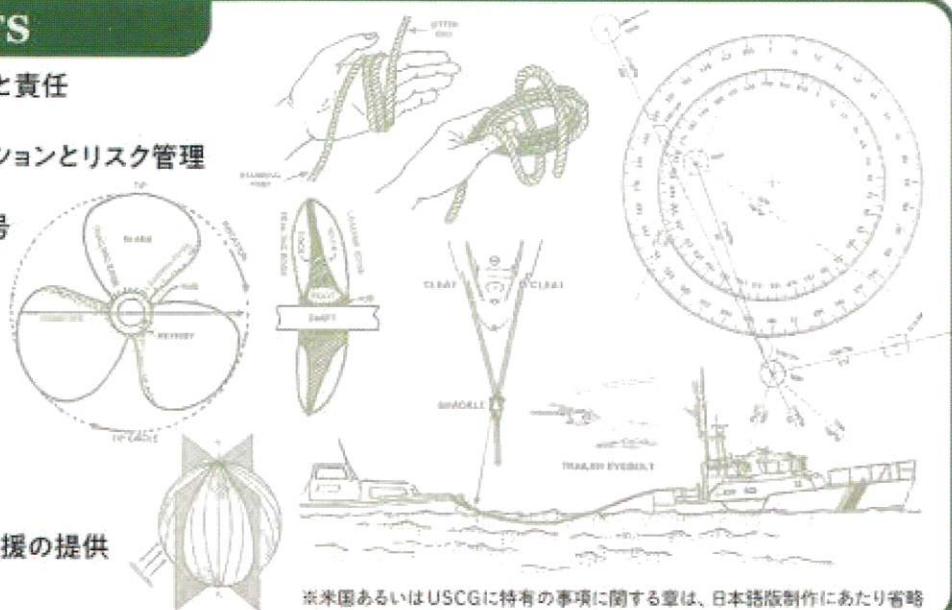


定価: 2,500円+税
A4判/464ページ

ISBN 978-4-8072-3308-3

CONTENTS

- Chapter 1. ボートクルーの任務と責任
- Chapter 3. クルーの身体要素
- Chapter 4. チームコーディネーションとリスク管理
- Chapter 5. 応急手当
- Chapter 6. 生存用具と火災信号
- Chapter 7. マリンスパイキ術
- Chapter 8. ボートの特性
- Chapter 9. 復原性
- Chapter 10. ボートの操縦
- Chapter 12. 気象と海洋学
- Chapter 14. 航法
- Chapter 16. 海中転落者の救助
- Chapter 17. 曳航
- Chapter 18. 防火、救助および支援の提供
- Chapter 20. 荒天時の補足事項



※米国あるいはUSCGに特有の事項に関する章は、日本語版制作にあたり省略

お申し込み・お問い合わせは

KAZI

発行/総社 舵社 販売部

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-17 ストックベル浜松町3F
直通 TEL.03-3434-4531 FAX.03-3434-5860

<http://www.kazi.co.jp>

関東小型船安全協会

会員価格 2,200円(税込み)

会員価格でのお申し込みは別紙記入の上

Faxで小安協までお送り下さい

関東小型船安全協会 会員専用 購入申込書 (FAX 045-201-7758)

書籍名	ボートクルー シーマンシップ マニュアル 日本語版 BOAT CREW SEAMANSHIP MANUAL (JBWSS連携協議会編)	サイズ A4版1.15kg 厚さ28mm	税込定価 (参考) 2,750円/1冊 (本体2,500円、消費税250円)
価 格	小安協会員税込単価 2,200円 (本体2,000円+消費税200円) / 1冊 (送料: 無料)		

株式会社 舵社 販売部 様

1 購入申込者氏名等

令和 年 月 日

氏名 (個人・団体・賛助名)	送 付 先 住 所	電話番号 (携帯・Email等)	税込単価 2,200円	購入数 (冊)	合計金額(円)
会員番号	郵便番号				
フリガナ			¥2,200	冊	円

2 振込先等

申 込 者	
1 申込書を小安協へ送付	⇒
2 合計金額を舵社へ送金	⇒

公益社団法人 関東小型船安全協会 TEL 045-201-7754 〒231-0005 横浜市中区本町4-43 A-PLACE馬車道 3F (月～金曜日 09:00～17:00)	※小安協受理印
(FAX 045-201-7758) (Email: ksak@wind.ocn.ne.jp) 申込書を舵社へ転送	



株式会社 舵社 販売部 TEL 03-3434-4531 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-17 スターハル浜松町 3F (月～金曜日 09:30～17:30 14:00までの入金で当日処理)	※事務処理係
□ (FAX 03-3434-5860) □ (Email: yoshihara@kazi.co.jp)	
振 込 先	銀行振込 みずほ銀行 銀座中央支店: 当座 0102488 郵便振替 ゆうちょ銀行: 普通 00110-9-25521 口座名 (株) 舵社

■ 事務局便り

令和4年度航海実技、無線講習計画について

令和4年度「航海実技講習（夜間）（昼夜間）」、「海上特殊無線技士養成講習」を次のとおり開催する計画にしておりますので、お知らせいたします。

■ 航海実技講習日程

夜間（東京港）

回数	講習日	日没	講習時間	講習人数
第1回	令和4年4月22日（金）	18:20	17:30～20:30	5名
第2回	令和4年5月20日（金）	18:43	18:00～21:00	5名
第3回	令和4年6月03日（金）	18:52	18:00～21:00	5名
第4回	令和4年7月01日（金）	19:01	18:00～21:00	5名
第5回	令和4年7月22日（金）	18:43	18:00～21:00	5名
第6回	令和4年9月02日（金）	18:08	17:30～20:30	5名

昼夜間（東京港の同じコースを航走し、昼間と夜間の見え方を比較する講習）

第1回	令和4年6月18日（土）	18:59	16:40～20:30	5名
第2回	令和4年10月1日（土）	17:36	15:30～19:20	5名
第3回	令和4年10月15日（土）	17:06	14:50～18:50	5名
第4回	令和4年10月29日（土）	16:49	14:30～18:30	5名

・講習費用 夜間：12,000円、昼夜間：20,000円

■ 第二級/第三級海上特殊無線技士養成講習日程

講習日	講習場所	資格種類
令和4年7月2（土）～3日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和4年8月6（土）～7日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和4年9月11日（日）	沼津市（静岡県フォークリフトセンター）	三海特
令和4年10月9日（日）	東京都（夢の島マリーナ）	三海特
令和4年11月13日（日）	東京都（夢の島マリーナ）	二海特（短縮）
令和4年12月3（土）～4日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和5年1月7（土）～8日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和5年2月5日（日）	横浜市（ベイサイドマリーナ）	三海特
令和5年2月26日（日）	横浜市（ベイサイドマリーナ）	二海特（短縮）

・講習費用 三海特：18,000円 二海特（短縮 三海特受有者のステップアップ）：26,000円
二海特（二日間）：34,000円

■ 記事、写真投稿依頼

皆様の活動時における記事や写真を掲載していきたいと思っております。
皆様からの投稿をお待ちしています！



公益社団法人 関東小型船安全協会

〒231-0005 横浜市中区本町 4-43 A-PLACE 馬車道 3 階

Tel : 045-201-7754 Fax : 045-201-7758

E-mail : ksak@wind.ocn.ne.jp URL : <https://shoankyo.or.jp>